

ジェイエムシー「Hardlocky」

# 専用USBキーを挿し込むだけで 教室のPCが校務用PCに変身

文部科学省のミレニアム・プロジェクトの下、全国の小中学校には校内LANをはじめとする情報化が急ピッチで進んでいるが、機器を導入するだけでなく、事前のセキュリティ対策も重要な課題として急浮上している。鹿児島県国分市では、教員がユーザー認証機能を備えた自分専用のUSBキーを使うことで、セキュリティを確保することができるHardlockyを使用して、使いやすくしかも確実なセキュリティシステムを構築した。



高峯 正一氏  
国分市立視聴覚センター  
指導主事



田上 哲夫氏  
国分市教育委員会 学校教育課  
学校教育係長

が校内ネットワーク(LAN)機能を整備、2005年度には、全国の学校のすべての教室にコンピューターを整備し、教員や生徒がコンピューターやインターネットを活用できる環境を整備することが目標として掲げられた。同プロジェクトの進行とともに

「教室内に設置したPCを生徒が操作している最中に校務データを誤って見失っては困りますし、教員が成績管理などの校務を教室内のPCで作業中にちょっとの間離席した時生徒がPCを操作する可能性も想定しなくてはならない。これをどう解決するかは大きな問題でした」と同市教育委員会 学校教育課 学校教育係長の田上哲夫氏は当時をこう振り返る。

同市立視聴覚センターで市内の学校の視聴覚・情報システムを担当する同市視聴覚センター 指導主事の高峯正一氏は「学校のセキュリティ対策はポイントが2つあります。予算の中で処理できるものであることが欠かせません。セキュリティ対策の結果、操作が煩雑になってしまうのでは、逆効果です」と指摘する。

学校の場合は、必要性を認識していても、企業の場合のように専任の担当者や部署を置くといった余裕はない。導入しやすく、誰にでも簡単に操作できるセキュリティ対策を検討している中で見つけたのが、ジェイエムシーのHard Lock(現在のHardlocky School)だった。

同市では家庭でのPC所有率が小学生で73%、中学生で83%と県平均を大きく上回っている。

## 簡単な操作で 確実なセキュリティ対策

Hardlockyは、専用ソフトウェア、ユー



国分市教育委員会  
〒899-4394  
鹿児島県国分市  
中央三丁目45番1号  
シンビックセンター  
(市役所内)

<国分市基礎データ> 平成15年5月1日現在

- 人口: 54,652人
- 世帯数: 23,405世帯(平成17年7月1日現在住民基本台帳による)
- 学校・教職員・在学者数

	小学校	中学校
学校数	217	146
教職員数	4,014	2,152
在学者数		

ザー認証サーバー、専用HUB、ユーザー認証USBキーから構成される学校内LAN用のセキュリティシステムで、新設、既設を問わず利用できる。

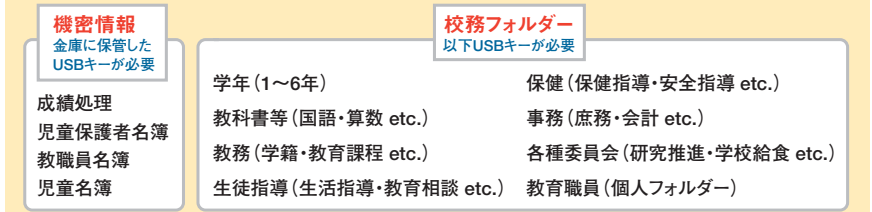
使い方は実に簡単。教員は教室内のPCのUSB端子に自分専用の認証用USBキーを挿し込む。それだけでそのPCが校務用LANに切り替わり、生徒の個人情報など重要なデータの保存されたサーバーにアクセスできるようになる。

認証キーを抜けば、生徒が使う学習システム用の端末になり、生徒は校務データには一切アクセスできない。認証キーを使って、校務用と学習システムをワンタッチで切り替えができるので、生徒の個人情報をパソコンで扱っている最中に生徒が来たときも、ユーザー認証キーを抜けば即座に校務用LANから抜け出せるのである。

「教師は、ユーザー認証キーをきちんと管理すれば、面倒な操作や知識は一切不要。無意識のうちにセキュリティ効果が得られるいっぽうで、USBキーを挿し込むことで、今自分は重要なデータにアクセスしていることをはっきり自覚できるというメリットもあります」と田上氏はいう。

「これなら校内のどのPCからでも校務処理ができるので、校務の情報化も進む」という観点からもHardlockyの採用を推進したと高峯氏は語る。

図2 国分市立小・中学校の情報資産管理体系



校務を2系統に分類、それぞれのUSBキーを用意。成績処理、名簿などの「機密情報」には金庫に保管したUSBキーを、その他の一般校務フォルダーを扱う場合は教員に個別に配布されたUSBキーを使用する。

## 個人PCの接続など 柔軟な情報化対策

同時に校内LANを安全に、かつ実効のあるものにするための指針となる全市共通の基本ポリシーも今年1月1日付で策定した。

「国分市立小・中学校情報教育及び校内LANの運用に関する規程」というタイトルからすると、面倒な規則集と思いがちだが、実態は各校が独自に規約の策定をするためのベースとなるものという位置づけだ。その中の情報セキュリティポリシーの策定の項目では「Hard Lock」の使用が明確に挙げられている。さらにユニークなのは「個人PCの校内LANへの接続」という項目が掲げられていることだ。

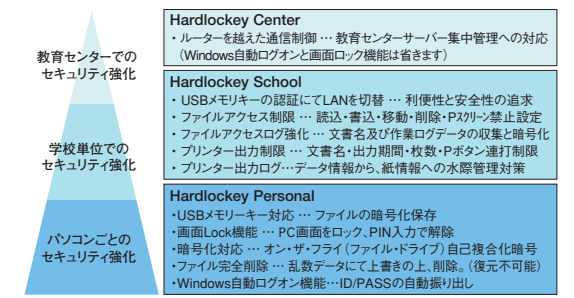
「教師が自分のノートPCを使って仕事

をするのはもう当たり前になってきています。杓子定規にこれを全く認めないという考え方もありますが、実際はこっそり使われているというのでは無意味です。それに校務の情報化を進めるためにも必要と判断し、個人用PCの校内LANへの接続を認め、校務データは校務サーバーに保存するようにしました」と高峯氏は指摘する。これはHardlockyを導入した賜物であることはいままでもない。個人PCの利用は事前に申請が必要だが既に26件の申請があり今後も増えそうだという。

国分市は既に小学校4校にHardlockyの導入を終えたが、今年11月7日に周辺の6町と合併して霧島市となり、一挙に47校体制になる。そのうちすでに4校がHardlockyを導入予定だという。今後もHardlockyが果たす役割は極めて大きい。

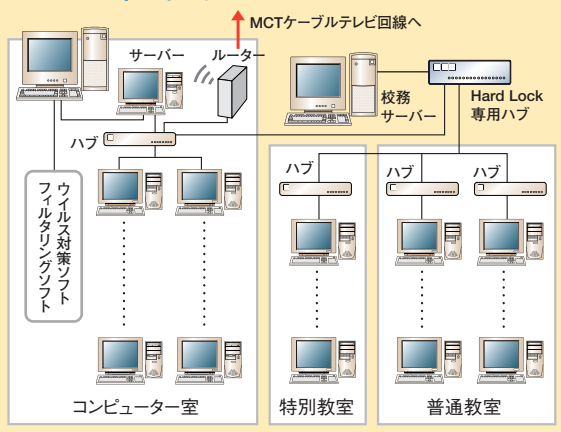
## 学校内LANセキュリティ支援ツール 「Hardlocky」シリーズに新製品登場

学校内LANセキュリティ支援ツールとして多数の学校で導入されている「Hardlocky」に、新製品が加わった。



スタンドアロンベースで利用する「Hardlocky Personal」は、個々のPC単位でのクライアントセキュリティに特化した廉価版。「Hardlocky Center」は、学校、教育研究所、教育委員会など教育用地域イントラネットに対応、例えば地域センター内にHardlocky Centerを設置することで、地域イントラネットに接続されたすべての学校で、USBキーによる認証・ネットワークの切り替えができる。従来からの「Hardlocky School」と併せ、3製品の中でユーザーのニーズに応じたセキュリティ対策が可能だ。

図1 「Hardlocky School」を使った  
国分市の校内LANシステム



問い合わせ先

ジェイエムシー 〒229-0031 神奈川県相模原市相模原4-8-19 JMC相模原ビル  
エデュケーションズカンパニー事業推進本部 TEL.042-768-1825  
<http://www.jmc.ne.jp/school/sch-index.htm>